



兵庫支部NEWS H29年11月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(TEL078-792-6130)

兵庫支部ブログ <http://blog.goo.ne.jp/ninom45> メール:hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00970-5- 236766

口座名 兵庫支部NEWS

兵庫支部11月定例役員会

11月26日(日)午後1時@神戸市青少年会館

兵庫支部定例役員会は奇数月第4日曜日と定めており、11月は11月26日(日)午後1時から5時まで神戸市青少年会館6Fに於いて開催されます。

主要議題は下記の通り:

1. 9月役員会後の支部活動状況
2. 今後の行事予定
3. 兵庫支部総会懇親会用横断幕完成披露
4. 広報事務的経費助成金交付申請について
5. 本部行事参加報告
 - ・ひびきのキャンパス見学会
 - ・平成29年度第2回評議会
 - ・第2回女性の会、全国支部役員の集い
 - ・第67回総会・懇親会
6. 忘年会出欠状況等
その他。

北九州市立大学同窓会第67回総会懇親会

第67回総会・懇親会が11月5日(日)リーガロイヤルホテル小倉に於いて開催された。

午前10時から総会が3人の応援団員のリードで校歌斉唱して始まった。

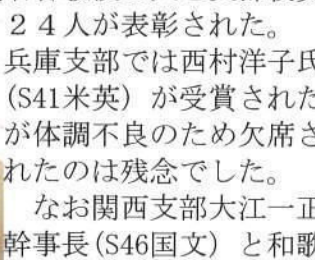
善会長は33支部を訪門し、高齢化や若年層・女性の参加が少ないなど共通の課題あり、前日の評議会、女性の会でも色々と意見が出された。年2回開催の評議会を1回にして、活動資金捻出することも検討している、と挨拶。

功労者表彰では、特別会員名誉教授3人と支部役員24人が表彰された。

兵庫支部では西村洋子氏(S41米英)が受賞されたが体調不良のため欠席されたのは残念でした。なお関西支部大江一正幹事長(S46国文)と和歌山支部服部薫幹事長(S44商)も受賞されました。

平成28年度事業報告、主な活動報告及び決算報告、そして平成29年度の運営活動方針、主要事業項目及び予算が報告され、総会が終了した。

特別講演会では、日本環境設計(株)会長の岩元美智彦氏(S63経済)がリサイクルインフラの構築・運営について語り、使わなくなった携帯電話をリサイクルし貴重金属の回収や、着なくなった服や繊維製品からバイオエタノールに再生し重油代替燃料として実際に車を走らせたり、再生燃料で、世界の紛争の原因は70%が石油の争奪戦で、それを減らす事も夢でない、と熱っぽく語り、



兵庫支部忘年会開催ご案内

神戸おうみや本店三ノ宮駅東徒歩4分

12月2日(土)午後6時

会場はJR三ノ宮駅から徒歩4分の至近距離で、てっちり鍋(てっさ、ふぐ唐、ふぐ皮)を用意。多数の皆様のご参会を期待しています。

開催日時:

平成29年12月2日(土)
午後6時~

開催場所:神戸おうみや本

Tel.078-221-2254

JR三ノ宮駅東へ徒歩4分 最初のガード下東側

会費:6,000円

連絡先:高山行雄幹事

Tel.078-961-2913 携帯090-5891-5825

E-mail: buder207@hi-net.zaq.ne.jp

締切日:11月25日

忘年会出席予定者(11月14日現在)

二宮慶治郎(S38米英)大村実良(S33商)高山行雄(S45米英)名越英昭(S37米英)安德信義(S44商)松山仁(S44商)永翁正臣(S41商)久芳健二(S44中国)津崎久雄(S45経済)真島秀幸(S48経営)田副忠亮(S45中国)浜田勝義(S44米英)以上12人

関西支部大江一正幹事長(S46国文)上羽伸一幹事(S55経営)

参考:案内状発信総数:122通(過去3年支部行事参加者・支援者)

返信総数:67(出席12、欠席51、氏名不詳3、不達1)55%
未回答:55

会場の人々を感動させた。矢田俊文前々学長、近藤倫明前学長も熱心に質問されるなど、氏の事業が大変注目されているようだ。

懇親会は約400人が参加して華やかに開催され、善会長や本多実行委員長などの挨拶、北橋北九州市長等の挨拶の後、ご来賓の名誉教授や同窓生の国会議員や地方議会議員などの紹介、学生代表の挨拶の後乾杯となって祝宴が始まった。

アトラクションではチアリーダーの演技や応援団の演武、ユニークだったのは春日ひよっとこ会による日向ひよっとこ踊りで、飛び入り参加もあり好評だった。(写真右上)1等3万円の商品券があたる福引があり、最後は応援団、現役とOBの共演で逍遥歌の大合唱で閉幕となった。(名越記)



第29回兵庫・関西囲碁交流会開催

関西支部が圧勝 21勝3敗

平成15年2月に第1回が開催された兵庫支部囲碁の会と関西支部囲碁同好会との交流会は、毎年春と秋に大阪と神戸で交互に開催されてきた。

第29回は平成29年10月20日(金)午後1時から兵庫支部囲碁の会定例会会場の阪急囲碁クラブにおいて、関西支部から5人、兵庫支部から6人が参加して熱戦を繰り広げたが、高段者が揃った関西支部が21勝3敗の圧勝に終わった。



関西支部

兵庫支部

茨木幹夫7段(S34米英) 3勝2敗	平間正昭3段(S37商) 1勝3敗
藤本隆夫7段(S47経営) 5勝0敗	山本信司2段(S37米英) 0勝4敗
徳丸 寛5段(S37商) 3勝1敗	名越英昭2級(S37米英) 0勝5敗
小葉竹英樹4段(S40商) 5勝0敗	安徳信義4級(S44商) 1勝4敗
都留 猛3段(S32米英) 5勝0敗	奥本 進4級(S39商) 0勝2敗
	今市 均5級(会友) 1勝3敗

通算成績	団体戦	兵庫支部	4勝24敗1分
	個人戦	兵庫支部	244勝373敗2分

「三金会」「囲碁交流会」合同懇親会

総勢15人「幻の川」著者桜田靖氏も横浜から



兵庫支部月例会「三金会」10月例会は、囲碁交流会の懇親会を兼ねて、10月20日(金)午後6時から定例会場の「バルザル元町店」において開催された。

第18回(平成19年度)北九州市自分史文学賞佳作に入賞した「幻の川」を本紙(平成20年2月号)で紹介させて頂いたご縁で著者桜田靖氏(本名小島吉晴氏、S40米英)が平成24年5月に「三金会」に出席され、その後Facebook「北九州市立大学同窓会兵庫支部」のサイトで交流が続き、この度5年ぶりに出席された。(写真右)

手土産にと持参された自著「幻の川」と短編集「月の浜辺」数冊がくじ引きで出席者に配布された。



同氏からのお礼のメッセージです。「母校は母港なり」横浜港から神戸港に虫が潜入しました。「ヒアリ」でなくてお邪魔虫でしたが、暖かなおもてなしに感激も雨あられの元町の宵でした。母校北九大のご縁で兵庫支部の皆さまとFBで交流しているうちにバーチャルでなく、現実にお会いしたくなった次第でした。

有難うございました。又の会う日まで。

小島吉晴(ペンネーム桜田靖) 昭和40米英卒

おむすび大好き♡ I Love を結び

三村晴美(S60経営)

里芋照煮のおむすび

第49回は「里芋照煮のおむすび」です。

(材料:おむすび 小2個)

- 里芋 中1個 (正味45g)
- 醤油 小さじ1
- 砂糖・マヨネーズ 各小さじ1/2ずつ
- ごま油 小さじ1 (作り方)



- 皮を剥いた里芋をあられ切りにし(一辺が5mmの角切り)、ごま油で炒めます。
- 表面がこんがりしてきたら、弱火にし、蓋をして竹串がスッと通るようになるまでおきます。
- 柔らかくなったら、醤油・砂糖・マヨネーズを入れて中火にし、里芋を絡めるように炒めます。
- 温かいご飯に、3の照煮を混ぜ合わせ、おむすび二つ作り、器に盛ります。(ワンポイントアドバイス)

皮付きの里芋を15分ほど茹でて皮を剥くと、ツルンと剥け、蒸し焼きの時間も短縮できます。

里芋は小さめに切った方が、火も通りやすく、味も付きやすいです。

煮物に飽きた時には、違う味付けを工夫してみるとご飯にも合い美味しいかも♪

川 柳 思案亭

シンシンと降る雪口にシャンシャンは
シャンシャンの手締めも緩む飼育員
サザエさん一家の灯が消ゆ日曜日
カタラン語駆使して独立カタルーニャ
太っ腹イバンカ基金WOW! 叫ぶ

兵庫支部親睦会「三金会」会場ご案内



Bar Salu(バルザル)元町

神戸市中央区北長狭通3-31-91
JR元町駅東口北出口から東へ徒歩1分
Tel.078-391-4136(ヨイサル)

「開催日時」
毎月第三金曜日
午後6時~8時予定

「会費」
約3000円(男女とも)

(実費割り勘)



1月4日(土)午後5時半からリーガロイヤルホテル小倉で「女性の会」全国支部役員が集いが開催され兵庫支部から林あづさ氏(S56米英)と渡辺恵子氏(H01英米)の二人が出席した。

『女性の会』第2回全国支部役員集い報告

林あづさ(S56米英)

1. 1年の振り返りの報告

兵庫支部の報告：2017年5月20日(土)ーゴールデンウィークを避けた5月に設定ーに神戸布引ハーブ園で開催し、出席者9人。

それぞれが近況報告・情報交換。林あづさがパソコンでパワーポイントを使って「インドネシアの生活文化」を報告した。

新しいチャレンジとして

①若い人が参加できる環境づくり

- ・子連れ参加OK(案内状に明記)
- ・子供の遊び場の確保
- ・遊び道具準備
- ・子供の世話係の決定



②女性が参加しやすい様参加費

を昨年より500円引下げ(渡辺さん、林さん)

結果は、子供連れの参加者はいなかったが、昨年の参加者5人を上回る9人の参加があった。

各支部からの報告

活発に活動されている支部もあったが、若い人の参加者が少ないのが、どの支部も共通する問題。

2. インターネットの活用について

兵庫支部 活用していない

各支部からの報告

LINEを活用している支部もあり、連絡が円滑かつ効果的に行えているようだった。

世話役がインターネットやSNSが出来ないという背景もあるようだ。

兵庫支部としてもLINEを有効に活用することで参加者の勧誘や掌握などが簡単に行えるのではないかと思った。

支部でHPを開設し、それに女性会員向けの案内を載せた。(関東支部、福山支部)

FB担当の人を決めイベントの知らせをFBにアップする。(関東支部)

役員間または会員間でLINEグループを作り連絡しやすい体制作りをした。(鹿児島・沖縄・広島)

3. 本部への要望

兵庫支部：補助金の増額

回答：財源が決まっているのでその計画はないが、現在検討事項に入っている

他の支部：本年度の卒業生の連絡先が欲しい

案内状を往復はがきで多く出す支部は負担も大きいので、別の方法を検討すべき。

女性会員の連絡先一覧表ができれば会の連絡がスムーズに行えるのではないか。

4. 本部からの連絡

・懇親会やOB会などが決まったら案内を本部にも知らせて欲しい

・終わったらFBにアップせず、本部に写真2枚、原稿用紙800字で報告して欲しい

・新卒から40歳までの「若者の会」を検討中。

大学70周年記念寄贈品

ひびきのキャンパス時計塔・校歌碑除幕式・見学会

1月4日(土)午前10時小倉駅北から貸切バスでひびきのキャンパスに向った。出発前突然雨が降り出し慌ててバスに乗り込む。北九州都市高速道路から黒崎バイパス経由で現地に向う。帰路は若戸大橋経由でどちらも初体験で楽しませてもらった。



現地到着時も小雨模様で校歌碑の前で本部スタッフがテント設置に奮闘。準備が整ったところで除幕式が始まり、善会長や梶原副学

長など数人により除幕、1番から5番まで記載された校歌碑が姿を現した。(上)

梶原副学長が時計塔が入口に設置されこれまで遅刻が多かった学生も少なくなるかも、と挨拶された時計塔の見学をする。(右)



その後校舎内を見学後、学生食堂ではなくCAFETERIAで昼食を済ませて、若戸大橋経由で小倉駅に帰着。午後の評議会へ。(名越記)

平成29年度第2回評議会

1月4日(土)午後1時半からリーガロイヤルホテル小倉3Fにおいて開催された。評議員60人のうち代理出席者を含む55人が出席して熱心に討議。

物故者への黙祷、校歌斉唱(1番5番)の後善会長が挨拶し、5月の評議会後のブロック会議では助成金が少ないとの意見が多かった。若者の会、女性の会、職場の会など色々検討を進めているが財源の確保に問題あり、年2回の評議会を1回にすることも検討。人口の減少により小中高の統合などもあり、やがては大学も、と危惧。

議長に行橋・京都支部の伊塚弘評議員(S44商)副議長に鹿児島支部の柿木正敏評議員(S47国文)を選出し審議が始まった。



上半期事業報告及び活動報告は鈴木雅子幹事長から上半期予算の執行状況は江口卓男事務局長からそれぞれ報告があり了承された。功労者表彰の審査について審査委員長の平岡三光福岡県南支部長から推薦された全員が承認され表彰されることになったと報告。

支部助成制度(若者の会)について、は様々な意見が出され、若者ではなく若手の方がなどの意見も。その他上海支部などの設立動向などにも質問があった。

評議会終了後、組織強化に向けたブロック会議に移り、8ブロックに本部役員および評議員が分かれて、①職域・女性・若者の会等を通じた各支部の組織強化の方策、②支部活動の為の助成金充実のための財源確保策、③同窓会70周年に向けた取り組み等のテーマに沿ってそれぞれが意見を交わした。

終了後女性評議員は女性の会へ合流、男性評議員はそのまま解散となり小倉の町へ繰り出した。(名越記)

第194回「歩こう会」10月例会

紀淡海峡に浮かぶ友ヶ島探索

第194回「歩こう会」10月例会は10月08日本紙9月号でご紹介させて頂いたとおり、紀淡海峡に浮かぶ友ヶ島探索を参加者7人が楽しんだ。

参加者は二宮慶治郎会長(S38米英) 安德信義(S44商) 永翁正臣(A41商) 平間正昭(S37商) 松山仁(S44商) 夫妻 および名越英昭(S37米英) の7人。(敬称略・順不同)

JR新今宮駅で南海線に乗り換えて加太駅に姫路から3時間強、三宮から2時間40分の長旅で到着。加太線はローカルだからと思いきや満員で殆どの人が終点加太駅まで乗車。

加太線の電車には「めでたいでんしゃ」と表示され、車体に鯛の絵図が描かれている。(右)

聞けば明石と同じ、鯛とたこが名産だとか。社内の吊り革も



鯛やかに模したものになっていた。(左) 3連休の中日、しかも好天に恵まれ、大勢の人が友ヶ島を目指していたようだ。



いつものペースで船着場まで町中を探索しながら到着したら、長蛇の列、予定していた11時の船どころか、次の次の13時発の乗船予約券をやっと手に入れる。

昼食弁当持参組みは港の片隅で眼前の友ヶ島を眺めながら、

弁当を持たない人達は町中に出

かけ、活魚料理店で刺身を肴にビールを楽しんでいたようだ。

予定より2時間遅れの午後1時発の「ともがしま」に乗り込み沖ノ島の野奈浦棧橋へと向う。

友ヶ島は4島(沖ノ島、神島、虎島、地ノ島)の総称で、我々が目指すのは沖ノ島ということだ。野奈浦棧橋は沖ノ島の西側に位置している。約30分の航行で野奈浦棧橋に到着。上陸地点は松林が広がる絶景の場所。とは



いうものの2時間遅れの到着で急いで廻らなくちゃ、

とトイレもそこそこに出発。ハイキングコースとして整備された海沿いの道を歩く。

潜水を楽しむ人あり、対岸は淡路の島影が遠望できる。

しばらく歩くと「海の家」の看板あり、メニューも掲示されていた。さらに進むと観光旅館富士屋別館の看板が。誰もいなくて盛業中なのかどうか。

やがて第2砲台跡に到着した。1889年(明治2年)陸軍が淡路島の由良地区に11ヶ所、友ヶ島地区に6ヶ所、加太地区に8ヶ所の砲台を設置した。



由良要塞と称し、紀淡海峡にさしかかった船舶を待ち伏せ砲撃することを目的としたが一度も使用されることなく終戦を迎えたとの事。

そこから少し上って行く

と白い灯台が見えてきた。友ヶ島灯台である。明治3年4月英国人リチャードヘンリー・ブラントンにより着工され、明治5年6月



竣工点灯されたとのこと。百年以上も紀淡海峡を航行する船舶の「みちしるべ」の役割を果たしてきているのである。平成20年経済産業省により近代化産業遺産に指定されている。



灯台の足元には第1砲台跡があり(左) 東側には子午線広場がある。しばし灯台を眺めながら休息。時間の制約もあり、ここから一路棧橋へと

向うことにする。午後3時半

出航の船に乗船し加太港へと

帰る。(右) 乗船券加太港一

友ヶ島往復 2,000円のチケットを加太港

上陸時に手渡し、加太駅を目指して、

一目散。加太駅では駅員さんが加太のマーク入りの前垂れを着用していたので記念にパチリ(左)

友ヶ島滞在約2時間だったが、十分にウォーキングを楽しむことが出来た。



第195回「歩こう会」12月例会ご案内

赤穂義士ゆかりの旧街道ウォーク 西相生⇒坂越駅

忠臣蔵で知られる赤穂事件急を知らせる早籠が走り抜けた旧街道をJR西相生駅から坂越駅まで約8キロを歩きます。参加お待ちします。

開催日：12月10日(日)

集合駅：JR西相生駅

出発：午前10時10分

参考：三ノ宮 明石 姫路 相生 西相生

08:54 09:09 09:33-09:40 10:00 10:03

(新快速姫路行)

(赤穂線普通播州赤穂行)

昼食弁当、飲み物、雨具等各自用意。雨天決行。



剣道・柔道・空手

北辰武道具店

奥本正広(代表)

奥本 進(昭和39年商学部卒)

〒666-0015川西市小花2丁目21-9

TEL(072)759-7990